

投資事業評価調書（新規）

| | | | | | |
|---|--|-----------------------------|--|-------------|----------------|
| 部課室名 | 砂防課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 砂防課長 市川和幸 (一宮大祐) | 内線 | 4459 (4465) |
| 事業種目 | 砂防事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 1.5億円 |
| | | 通常砂防事業 せんぎょくたにがわ 仙玉谷川 | 神崎郡市川町 しもうしお 下牛尾 | 内用地補償費 | 0.1億円 |
| 所在地 | | | | 着手予定 年 度 | 完成予定 年 度 |
| 神崎郡市川町下牛尾 | | | | H25 | H27 |
| 事業目的 | | | 事業内容 | | |
| 土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家・県道等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。 | | | ・砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2] | | |
| 評価視点 | 評価結果の説明 | | | | |
| (1)必要性 〔流域の状況〕 | ・(二)市川水系岡部川に流入する土石流危険溪流 ・針葉樹林に覆われた流域は、風倒木が多数発生しており、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。 | | | | |
| 〔保全対象等の状況〕 | ・土石流が発生した場合の氾濫面積は約2ha(長さ200m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・人家11戸、県道西脇八千代市川線(避難路) | | | | |
| (2)有効性・効率性 〔効果〕 | ・警戒避難体制の整備に加え、ハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。 | | | | |
| 〔事業執行環境〕 | ・地元要望も強く、工食用道路として町道からえん堤設置位置までの寄り付きが容易であることから、円滑な事業執行が可能である。 | | | | |
| (3)環境適合性 | ・県道からの視認性を考慮し化粧型枠を採用するとともに、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。 | | | | |
| (4)優先性 | ・保全人家や県道など重要な公共施設の保全を図る必要があるため、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H25年度に事業着手し早急な対策が必要である。 | | | | |

せんぎょくたにがわ
仙玉谷川
[市川町]



計画概略図
縮尺 1:5,000

